

# 学校だより



岡山市立平井小学校

令和6年6月5日

<http://www.city-okayama.ed.jp>

/~hiraish/

平井小のホームページで「学校だより」をカラーで見ることができます。

## 学校教育目標:「明日を楽しみにできる学校」

### 全校放送朝会の校長の話(6月3日)

ウェルビーイングな学校を目指して

#### 【平井小校歌】

1 はるかに望む紫は 瀬戸の内海にそそり立つ 児島の山よあのような 高い匂いを平井校 わがまなびやに育てよう	2 緑は萌える北の丘 すさぶ嵐にどっしりと 耐えて倒れぬ木のように 強い心を平井校 わがまなびやに育てよう	3 流れも遠い旭川 青い水面にすっきりと 雲がうつるよあのような 知恵の光を平井校 わがまなびやに育てよう
--	---	---



6月1日は何の日だったでしょう。実は平井小学校のお誕生日「開校記念日」でした。今から73年前、平井小学校が誕生しました。平井小学校の校歌もその時にできました。それでは、平井小学校の校歌を一番だけ歌います。歌詞の意味を考えながら聴いてください。一緒に歌える人は歌ってみてください。(平井小学校校歌)

さて、平井小学校の校歌は3番まであるのですが、実は歌詞に秘密が隠されています。今日は、平井小学校の校歌の歌詞の秘密について一緒に考えてみたいと思います。

まず1番です。1番の歌詞の中に、「瀬戸の内海にそそり立つ児島の山」が出てきます。児島の山は、平井小学校から南の方角に見えます。色も書かれていますね。紫です。「山は緑なのになぜ紫なのだろう」と校長先生は不思議に思いました。紫は藤の花なのだそうです。平井小学校から見ると、南のはるか向こうには児島の山があり、5月には藤の花が咲き乱れて紫色が見えるということです。

次に2番です。色と方角が見つかりますか?「緑」、「北の丘」という言葉が入っていますね。平井小学校の北には丘があるから緑色が見えるということです。

最後に3番です。色と方角に注目すると気が付くことがありますか?

もう気が付きましたね。青色という言葉が入っていますね。青色が入っているわけは何が見えるからでしょう?そうです。旭川の水の色ですね。旭川が流れているのは、平井小学校から見るとどちらの方角でしょう?西です。平井小学校の西には旭川が流れているから青色が見えるのです。

1番は、平井小学校の南に見えるもの、2番は北、3番は西に見えるものでした。

校歌は3番までで終わりですが、「あれ?」って思いませんか?何か足りないですよ。そうです。東が足りないです。4番に東のことがあってもおかしくないのですが・・・

4番がないこと理由は校長先生にもわかりません。東はみなさんから見ると運動場側です。もし校歌の4番をみなさんが考えたとしたら、何色を入れますか?その理由も考えてみると面白いですね。人それぞれ思う色が違うかもしれません。東の色とその理由がひらめいた人は校長先生にぜひ教えてください。今日は、開校記念日の話「平井小学校の校歌」についてお話をしました。最後まで考えながら目と耳と心で聴いてくれてありがとう。

## 「メディアコントロール」の取組について(お願い)

本校ではここ数年、毎月10日を「パワーアップデー」として、上手にメディアと付き合える子どもの育成をめざしています。

今年度も6月より本取組を実施いたします。後日配付するチャレンジカード(昨年度までのものと変えています)をお子様と一緒に読んで主旨をご理解の上、ご家族一緒にメディアに関する家庭のルールをつくったり、目標を決めたりしてメディアコントロールに取り組んでいただけたらと思います。

コロナ禍以降、メディアを利用する時間が増加していることで、心身へおよぼす影響がさらに心配されるようになってきています。昨年4月に実施した岡山市学力アセスの結果から、「平日に4時間以上テレビや動画を見たりインターネットを使ったりゲームをしたりする」本校児童の割合は33.6%にのぼり、これは、全国平均の18.7%を大きく上回っていることが分かりました。

パワーアップデーの機会を通して生活習慣を整え、子どもたちが健やかに成長発達していくようご協力ください。この取組で子どもたちがコントロールするメディアとは、テレビ・ビデオ・ゲーム・パソコン・スマートフォンやタブレット等の携帯端末を自分の楽しみや遊びに使う時間のことです。(家庭学習でクロムブック等を使う時間は含みません)

この取組を通して、子ども達が「自己管理能力」を身に付け、将来にわたってメディアと上手に付き合っていくことができるようにしていきたいと思っています。パワーアップデーにかかわらず各家庭でメディアコントロールに取り組んでくださればありがたいです。



## 「生命(いのち)の安全教育」の実施について



文科省「生命の安全教育」資料

令和2年6月に、政府の「性犯罪・性暴力対策強化のための関係府省会議」において決定された「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」を踏まえ、子どもたちが性暴力の加害者、被害者傍観者にならないよう、全国の学校において「生命(いのち)の安全教育」を通して、生命の尊さを学び、生命を大切にする教育、自分や相手、一人ひとりを尊重する教育を推進してまいります。本年度、本校では6月7日(金)の参観授業の中で次のような内容を指導します。

- 低学年は、「体の部位(プライベートゾーン)の役割についてしり、体を守ること 大切さを学ぶ」
  - ※1年生はこれまで行ってきた性教育(体の部位と清潔にすること)の学習
- 中学年は、「体の部位(プライベートゾーン)について確認し、人との距離感(パーソナルスペース)について考える」
- 高学年は、「SNSを通じた性被害について知り、SNS等の見えない相手とつながることの危険性について考える」

